

1 位置付け

- (1) 「地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）」第 233 条第 5 項に定められている決算付属書類
- (2) 「県行政に関する基本的な計画の議決に関する条例（平成 15 年岩手県条例第 59 号）」第 5 条に定められている基本計画の実施状況報告書類

2 内容と構成

【内容】

本評価は、平成 22 年 1 月に策定した「いわて県民計画」のアクションプラン〔政策編〕を対象に、平成 20 年を基準年度（現状値）として、平成 22 年 3 月末時点の各種指標の達成度（基準年度から見た年度目標に対する到達の度合い）を示すものです。

※ただし、平成 22 年度の評価については東日本大震災津波の発災（平成 23 年 3 月 11 日）前の状況について記載しているもの。

【構成】

- (1) 7 つの政策ごとの指標の動向及び主な取組状況について掲載
- (2) 「アクションプラン〔政策編〕」に位置付けられる 42 政策項目について、詳細情報を掲載
- (3) 資料として、指標一覧表などを掲載

3 「アクションプラン〔政策編〕」の全体の状況

アクションプラン〔政策編〕（平成 22 年度）の達成状況は、42 の政策項目の「目指す姿」を示した 85（97）の指標から見ると 51.7%が「概ね達成」以上となりました。また、県の具体的な取組である「具体的な推進方策」の 284（311）の指標から見ると 61.3%が「概ね達成」以上となりました。〔※指標数の（ ）内は、未確定指標を含む全指標数〕

アクションプラン〔政策編〕による取組のうち、計画どおり進まなかった政策については、今後も更なる取組を行う必要があります。

※ アクションプラン〔政策編〕では、県以外の取組主体と一緒に目指すアウトカム（最終目標）である「目指す姿」と、県が主体となって具体的に取り組む「具体的な推進方策」を区分して設定しています。

(1) 「目指す姿指標」の達成状況について

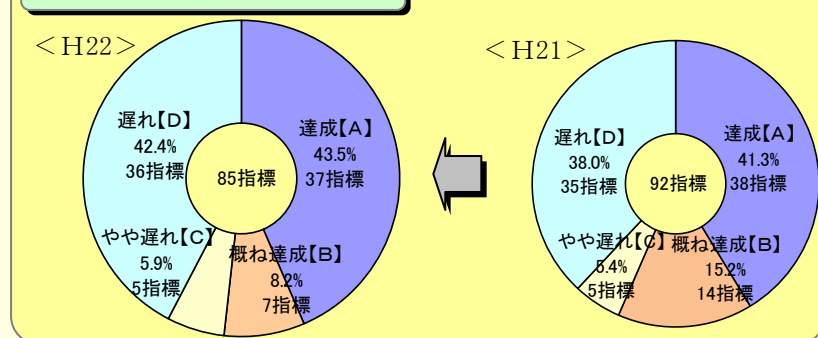
①平成 22 年度の達成状況

- ・「達成 A」または「概ね達成 B」
社会資本や医療・子育て・福祉など 44 指標（前年度：52 指標）
（51.7%）（前年度：56.5%）
- ・「やや遅れ C」または「遅れ D」
産業・雇用や教育・文化など 41 指標（前年度：40 指標）
（48.3%）（前年度：43.4%）

②平成 21 年度との比較について

- ・全体では「概ね達成」以上の割合が 4.8 ポイントの減と昨年度より悪化
- ・「Ⅰ産業・雇用」において雇用環境等の指標の悪化により 18.3 ポイントの減となるなど、7 政策のうち 4 政策において昨年度より悪化
- ・「Ⅲ医療・子育て・福祉」において 11.1 ポイントの増と昨年度より改善

目指す姿指標からみた達成状況



(2) 「具体的な推進方策指標」の達成状況について

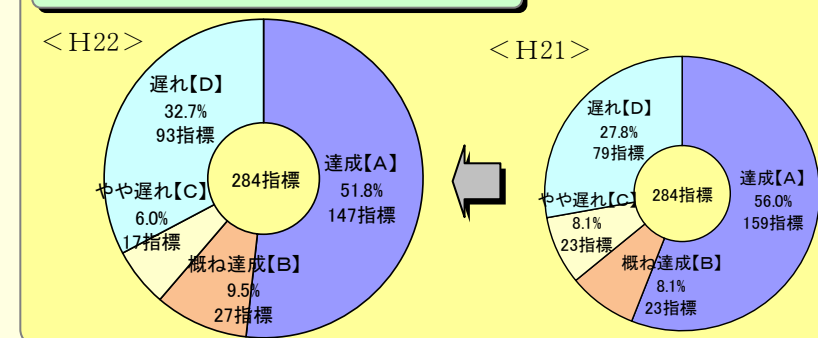
①平成 22 年度の達成状況

- ・「達成 A」または「概ね達成 B」
ものづくりや子育てなど 174 指標（前年度：183 指標）
（61.3%）（前年度：64.0%）
- ・「やや遅れ C」または「遅れ D」
農業や多様な市民活動の促進など 110 指標（前年度：103 指標）
（38.7%）（前年度：36.0%）

②平成 21 年度との比較について

- ・全体では「概ね達成」以上の割合が 2.8 ポイントの減と昨年度より悪化
- ・「Ⅱ農林水産業」において農業関係等の指標の悪化により 15.1 ポイントの減と昨年度より悪化
- ・「Ⅴ教育・文化」において 14.9 ポイントの増と昨年度より改善

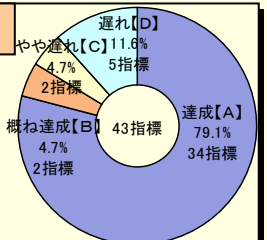
具体的な推進方策指標からみた達成状況



4 7 つの政策の状況（具体的な推進方策指標の状況）

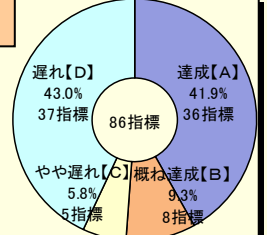
政策の柱Ⅰ【産業・雇用 ～「産業創造県いわて」の実現～】

- ①「概ね達成」以上は「国際競争力の高いものづくり産業の強化」や「次代につながる新たな産業の育成」など 36 指標（83.8%）
- ②平成 21 年度と比較して「概ね達成」以上が 7.1 ポイントの減
- ③「食産業の振興」や「観光産業の振興」など 7 指標（16.3%）に遅れ



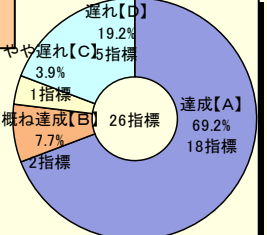
政策の柱Ⅱ【農林水産業 ～「食と緑の創造県いわて」の実現～】

- ①「概ね達成」以上は「農林水産物の高付加価値化と販路の拡大」や「いわての魅力あふれる農山漁村の確立」など 44 指標（51.2%）
- ②平成 21 年度と比較して「概ね達成」以上が 15.1 ポイントの減
- ③「消費者から信頼される「食料・木材供給基地」の確立」など 42 指標（48.8%）に遅れ



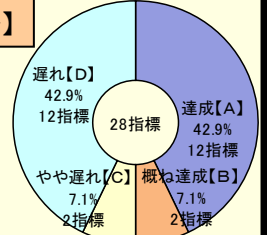
政策の柱Ⅲ【医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～】

- ①「概ね達成」以上は「家庭や子育てに夢をもち安心して子どもを産み育てられる環境の整備」など 20 指標（76.9%）
- ②平成 21 年度と比較して「概ね達成」以上が 7.1 ポイントの減
- ③「福祉コミュニティの確立」など 6 指標（23.1%）に遅れ



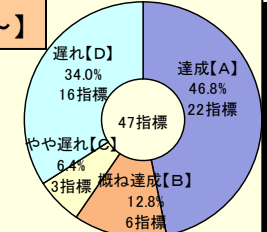
政策の柱Ⅳ【安全・安心 ～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～】

- ①「概ね達成」以上は「青少年の健全育成」など 14 指標（50.0%）
- ②平成 21 年度と比較して「概ね達成」以上が 1.7 ポイントの減
- ③「多様な主体の連携による地域コミュニティの活性化」や「多様な市民活動の促進」など 14 指標（50.0%）に遅れ



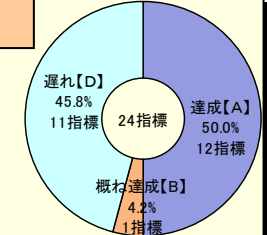
政策の柱Ⅴ【教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～】

- ①「概ね達成」以上は「家庭・地域との協働による学校経営の推進」や「豊かな心を育む教育の推進」など 28 指標（59.6%）
- ②平成 21 年度と比較して「概ね達成」以上が 14.9 ポイントの増
- ③「児童生徒の学力向上」や「高等教育の連携促進と機能の充実」など 19 指標（40.4%）に遅れ



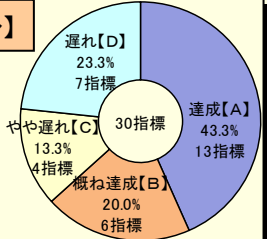
政策の柱Ⅵ【環境 ～「環境王国いわて」の実現～】

- ①「概ね達成」以上は「多様で豊かな環境の保全」や「循環型地域社会の形成」など 13 指標（54.2%）
- ②平成 21 年度と比較して「概ね達成」以上が 12.5 ポイントの増
- ③「地球温暖化対策の推進」など 11 指標（45.8%）に遅れ

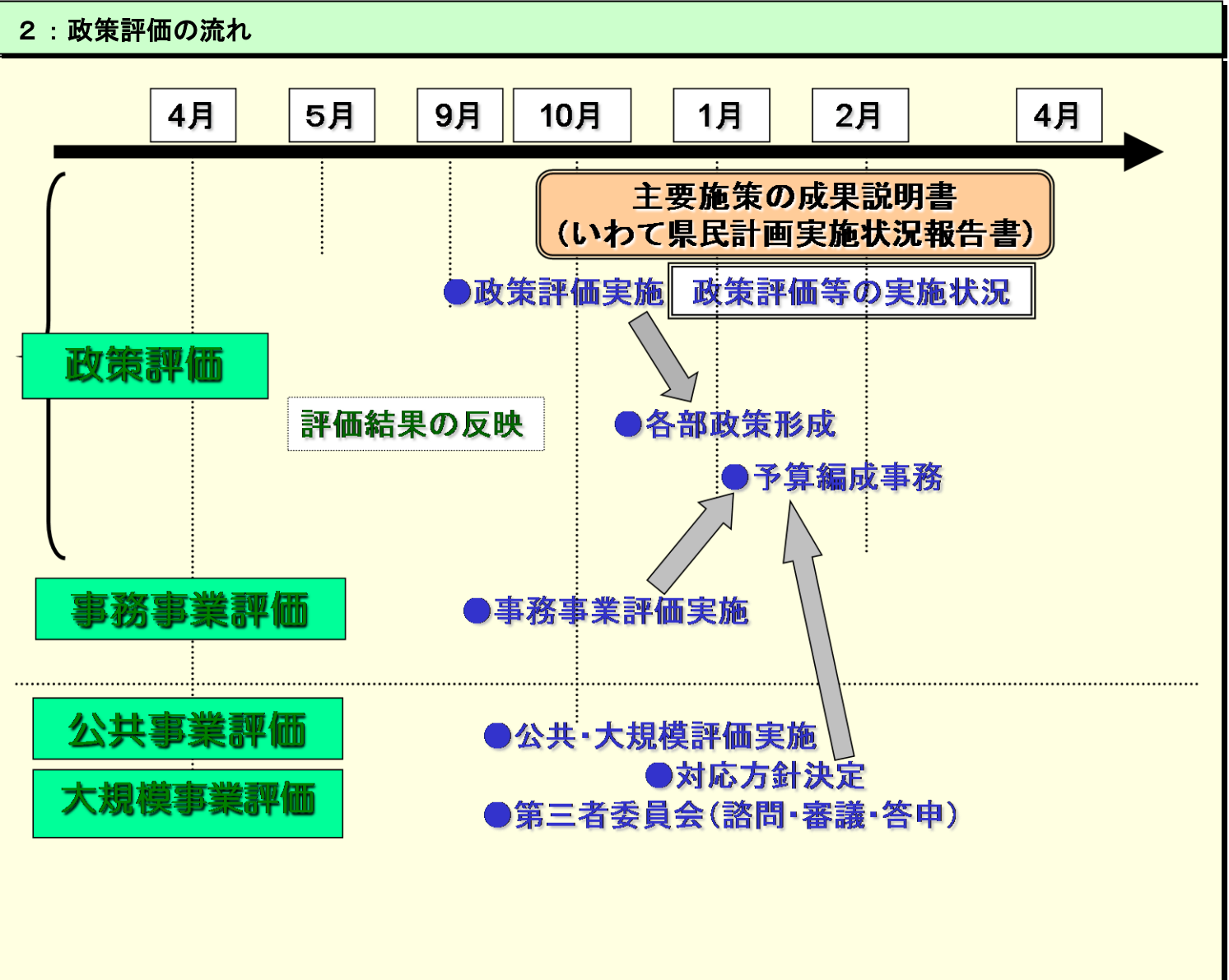
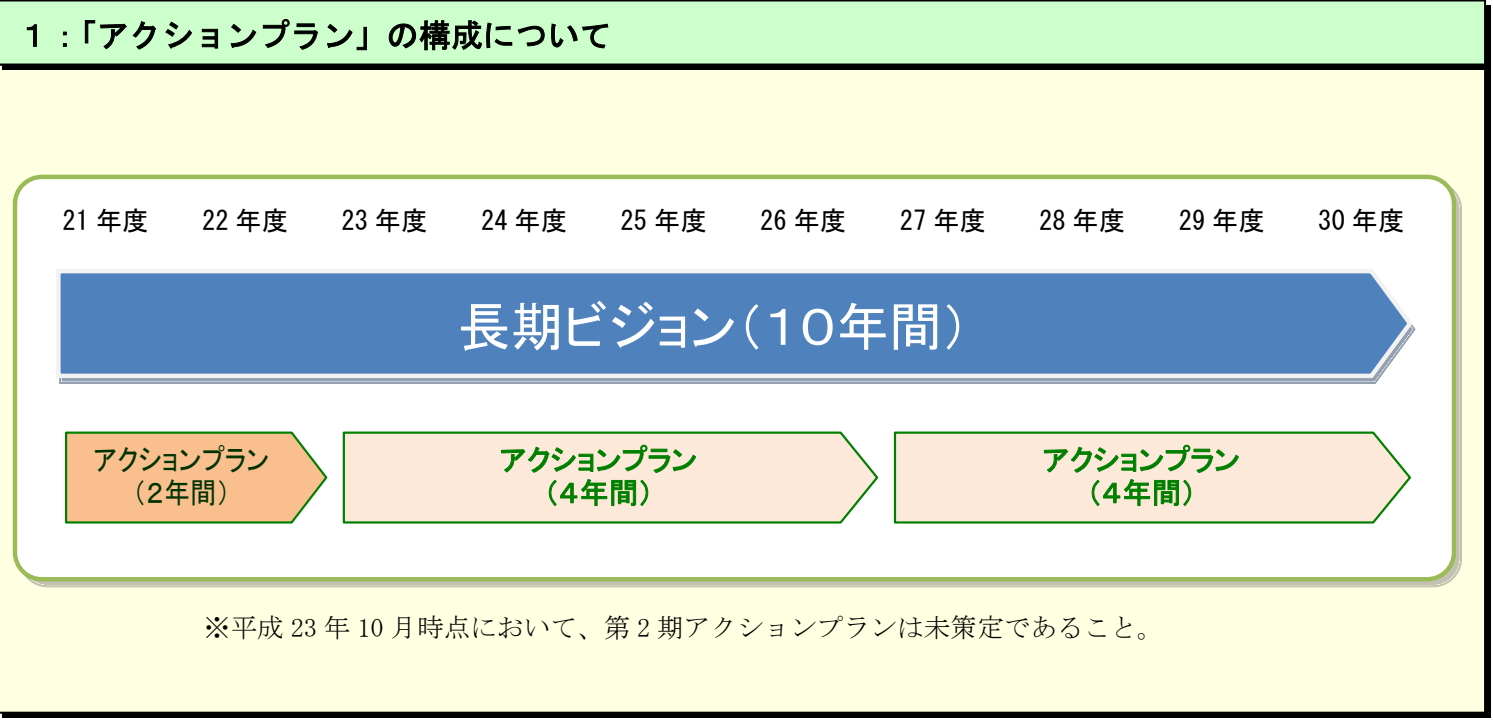


政策の柱Ⅶ【社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～】

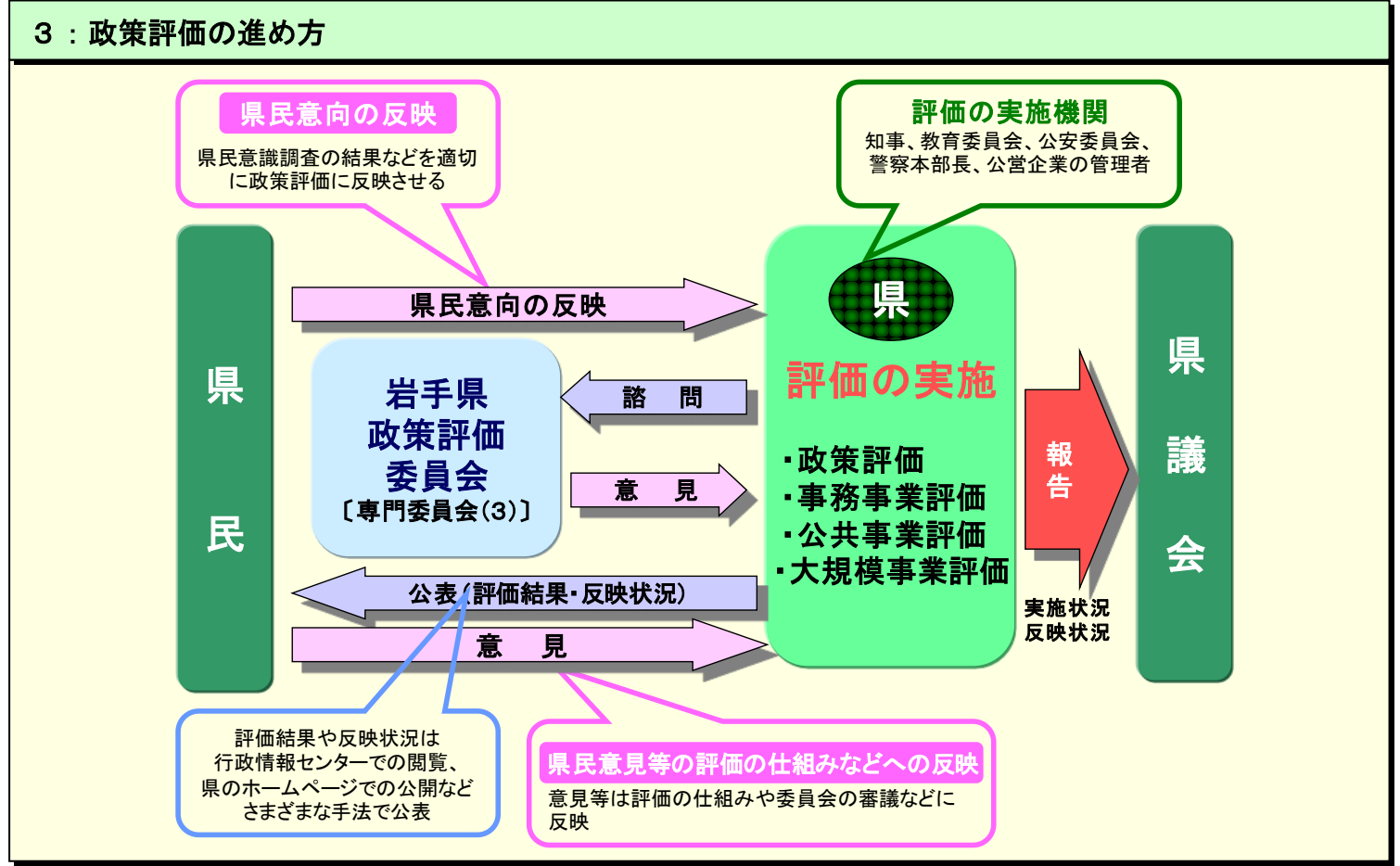
- ①「概ね達成」以上は「社会資本の維持管理と担い手の育成・確保」など 19 指標（63.3%）
- ②平成 21 年度と比較して「概ね達成」以上が 0.8 ポイントの増
- ③「豊かで快適な環境を創造する基盤づくり」など 11 指標（36.6%）に遅れ



参考



※主要施策の成果に関する説明書は県のホームページで公開しているほか、各広域振興局等の行政情報サブセンター、図書館(アイーナ等)でも閲覧できます。



4: 政策評価システムの概要

区分	対象	目的	方法
政策評価	いわて県民計画アクションプラン[政策編]に掲げる政策項目(42)・具体的推進方策(173)等	いわて県民計画の進行管理と施策の重点化	主要な指標の達成状況を基本とし、県民意識調査や各種統計資料、社会経済情勢などにより、分野等の達成状況を総合的に評価
事業評価	事務事業評価	効果的、効率的な事業推進	事業目標の達成状況、活動結果の状況及び費用対効果などの観点から評価
	公共事業評価	公共事業(大規模事業を除く)の箇所	箇所ごとに、事業の「必要性」、「重要性」、「緊急性」、「効率性」(費用便益比を含む)、「熟度」のほか、社会経済情勢や環境の観点から評価
	大規模事業評価	(公共事業) 総事業費50億円以上の事業箇所 (施設整備事業) 総事業費25億円以上の事業など	・事業の效果的、効率的な推進と重点化 ・事業実施過程の透明性と客観性の一層の確保 ①事前評価 ②継続評価 ③再評価 ④事後評価